

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 公告掲載URL https://www.alpha-grp.co.jp
-------	--

上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
---------	-----------------



株主さまアンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を
進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>



①下記URLにアクセス
②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示
<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **3322**

以下の方法でもアンケートにアクセスできます



検索窓から



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。(2201)

アルファグループ株式会社

〒150-0011 東京都渋谷区東一丁目26番20号
東京建物東渋谷ビルディング14階

TEL:03-5469-7300(代表) <https://www.alpha-grp.co.jp>

※ご意見・ご要望はメールアドレス ir-info@alpha-grp.co.jpまでお願いいたします。

PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

第25期 報告書

2021年4月1日 ― 2022年3月31日

証券コード：3322

TO MAKE OUR CUSTOMERS SMILE

アルファグループ株式会社

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、感染症に罹患された皆さま、休業等により多大な困難に直面されている皆さま方に心よりお見舞い申し上げます。また医療関係者の方々をはじめ、感染の終息に向けてご尽力されている多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

第25期(2022年3月期)の当社グループを取り巻く経営環境は、長期化する新型コロナウイルス感染症の蔓延や原油価格の高騰などの懸念材料により、終始不透明な状況で推移いたしました。経費節減を意識しつつ当社の根幹である「STOCK」型ビジネスモデルによりもたらされる安定的な収益を確保するとともに、数期先をも見据えた新たな収益の源泉の構築に取り組んでまいりましたが、厳しい状況により、当初見込んでいた規模での展開には至ってはありません。

当期の連結業績は前年度を大幅に上回るものではありませんが、これは完成された収益基盤の強固さを示している一方で、将来への投資に関しては未だ満足できる段階ではないということの表れでもあります。この結果に慢心することなく、次期も事業拡大に注力してまいります。

当社グループは今後も、独創のマーケットクリエイター集団として、企業理念の「人に、よりよく」を事業活動のあらゆる側面において具体化しつつ、持続的な成長と企業価値の最大化を追求してまいります。株主の皆さまには、これまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 吉岡 伸一郎

**安定した収益の源泉である
「STOCK」型ビジネスモデルを基盤に
持続的な成長と企業価値の最大化を
追求してまいります**

当社第25期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績および事業の概況についてご報告申し上げます。

Q. 2022年3月期の連結業績を
どのように評価していますか。

依然として、新型コロナウイルス感染症の終息の気配は見えず、従来にも増して慎重な舵取りが求められる年度となりました。さらに、原油価格の高騰に起因する電気料金の高騰は、ロシアのウクライナ侵攻により拍車がかかり、当社事業に対する強い逆風となりました。

こうした厳しい事業環境下で、当社グループは前期に引き続き、収益基盤のさらなる強化に取り組みました。

5Gマーケティング事業については、通信端末販売の代理店展開および携帯電話販売ショップに特化した人材派遣の双方において、感染対策を徹底した上で適切な営業活動を推進し、堅調な業績を残すことができました。

B to Bイノベーション事業では、従来からの主軸であるオフィス文具通販の代理店展開において、既存優良登録法人へのキャンペーン実施など、購買意欲を喚起する販促活動が奏功し、売上高は伸び悩んだものの前期と同等の利益を確保す

ることができました。

環境サステナ事業では、LED照明機器の販売・レンタルや太陽光発電等により安定的な収益を確保する一方で、拡大を見込んでいた電力小売やエネルギー利用状況等のコンサルティングサービスの展開が難航したため、顧客獲得費用が発生せず、前期までの継続収益の寄与により大幅な利益増となりました。

Q. 各セグメントの現況と今後の展望を
お聞かせください。

5Gマーケティング事業では、WEBを活用した情報提供・集客・販売を促進するために、比較情報サイト「モバワン」を開設し、新たな収益源の構築に努めております。

B to Bイノベーション事業では、医療法人を主体とする顧客網が確立されつつあることを受けて、2021年2月に新会社「アルファメディカルマネジメント株式会社」を設立し、医療施設や社会福祉施設等の経営全般に関するコンサルティングサービ

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益
第25期 連結業績 2022年3月期	13,211 百万円	698 百万円	750 百万円	444 百万円

※ 第25期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、その適用後の金額のため、対前期増減率は記載していません。



スの提供開始に向けた準備に注力しております。

環境サステナ事業では、LED照明機器の提案、製造、設置までを当社グループ内でオールインワンで提供できる体制を整えるため、2022年4月に建設業許可を有する法人の株式を100%譲り受け、商号も「アルファエレワークス株式会社」と改めました。

各セグメントとも、現在の収益基盤を維持しつつもその枠組みに捉われることなく、革新的な商材やサービスを開発し、引き続き新たなフェーズへの移行を図っていく所存です。

Q. 中長期の成長戦略をお聞かせください。

当社グループが将来にわたって発展成長していくためには、現在の主力である通信端末販売の代理店展開やオフィス文具通販の代理店展開だけではなく、当社独自のサービスである環境サステナ事業の拡充が欠かせません。5GマーケティングとB to Bイノベーションの両事業で獲得した資金を、環境サステナ事業に効果的に投入することで「3本目の

柱」を盤石化し、収益構造を幾重にも強化してまいります。

また、多彩な事業を通じて社会課題の解決に取り組む当社グループにとって、カーボンニュートラルをはじめとするサステナビリティへの貢献は、事業と同等の重みを持つ責務であり、同時に貴重なビジネスチャンスであると認識しております。ESGやSDGsにおけるさまざまな取り組みを通じて、企業理念を定性的／定量的に具現化できる企業グループを目指してまいります。

Q. 自社の強みや競争優位性をどのように捉えていますか。

継続するコロナ禍においても安定的な収益を確保できる「STOCK」型のビジネスモデルや、外部環境の変化に左右されにくい多角的な収益構造が当社グループの市場における優位性ですが、これを生み出す根底にあるものはステークホルダー重視の企業風土だと考えております。

当社グループは、創業時の社名（プラスアルファ）が示す通り、お客さま、株主さま、取引先、従業員、地域社会などすべてのステークホルダーに当社独自の価値＝プラスαを提供するこ

とを目標に、経営と事業の高度化に取り組んでまいりました。2004年の上場後は、「人に、よりよく」を企業理念に据え、社会価値の創出に心を砕いてまいりました。こうした歴史を通じて、革新と挑戦を重んじる闊達な企業文化が育まれております。

さらに現在は、新たな視点に基づく革新的なサービスにより企業価値の持続的拡大を図る「プラスαをカケルαへ」をブランドメッセージとして掲げています。ステークホルダーの真に望んでいるものは何かを考え抜き、その答えを日々の事業活動に結実させていく進取の気性こそ、当社グループの競争優位性の源泉であり、成長の原動力だと信じております。

Q. 最後に、株主の皆さまにメッセージをお願いします。

当社は株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題のひとつと捉え、安定配当の継続と利益成長による企業価値の向上に注力してまいりました。2022年3月期の配当につきまして、当期業績と内部留保の充実を総合的に勘案し、1株当たり7.5円とさせていただきます。今後も中長期の成長戦略を確実に遂行することにより、株主価値の一層の向上を目指してまいります。

2023年3月期も、新型コロナウイルス感染症の影響やロシアのウクライナ侵攻に伴う地政学的リスクの拡大など、不安定な事業環境が続くものと想定されますが、当社グループは、目まぐるしく変化する国際情勢に即応できるよう基幹3事業の基盤強化に努めるとともに、成長軌道の定着を見据えて新たな事業領域の開拓・深耕にも積極的に取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、倍旧のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第26期 連結 業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2023年3月期	13,500 百万円	460 百万円	465 百万円	294 百万円
	2.1%増	34.7%減	38.0%減	33.8%減

第25期 株主還元	1株当たり 配当金	配当性向
2022年3月期	7.5 円	9.5 %

当社の経営陣をご紹介します。全員が一丸となって、さらなる成長を目指してまいります。

取締役 西野 裕

主要な役職

アルファエネシア(株)
代表取締役社長
アルファメディカルマネジメント(株)
代表取締役社長

取締役 徳山 宗年

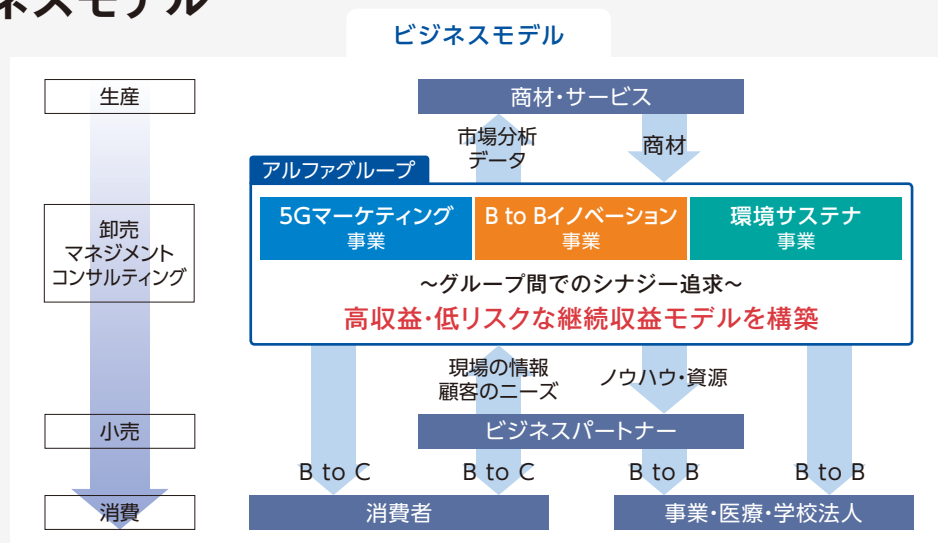
主要な役職

アルファインターナショナル(株)
代表取締役社長
(株)クロード 代表取締役社長

将来への安定的収益を生み、社会に価値を積み上げていく「STOCK」型ビジネスモデル

当社の事業は、継続的な成長を指向して、一時的な収益のスキームを作り込むのではなく、将来的に従業員に還元できるような利益をしっかりと積み上げる「STOCK」型の事業です。

現在までに確立された顧客網などの収益基盤を毀損せず、さらにグループ間のシナジーも活用しつつ、より効率的かつ安定的に収益を生み出せるよう、今後も邁進してまいります。



5Gマーケティング事業

5G対応通信端末の普及や通信事業者各社の新料金プランの提供など、当期のモバイル市場には顕著な活性化が見られました。オンライン専用プランの提供も始まり、販売店舗の機能と役割も大きな変革の時期を迎えているなかで、当社グループは通信端末販売の代理店展開と直営店での販売に注力し、また、販売ショップに高い専門性を有する従業員を派遣する人材派遣サービスの進展にも積極的に取り組みました。さらに感染防止の徹底を図りつつ営業活動を継続するとともに、将来の営業網強化に向けて好立地への新規出店にも経営資源を投入しております。

今後の展望

新通信規格の5Gにより、ネットワークを通じたさまざまなサービスが展開されていくこと、生活やビジネスも大きく変わっていくことが予想されます。

5Gマーケティング事業では、従来の通信端末に限らず、5Gを活用した新たなサービスを提供し、またそれに伴い変化するライフスタイルをも提案する事業にシフトしていく展望を持っております。

これまでと変わらず通信事業者の代理店事業を展開し、5G対応の端末も取り扱いつつ社会におけるインフラ提供の一助を担うとともに、新たなサービス・商材を開拓してまいります。また、5G端末など新しいサービスに精通した人材を派遣することで、サービス等の普及に貢献するとともに、多様な働き方を提供することで「あらゆる人が活躍する社会」に貢献する姿を目指してまいります。



売上高
10,333 百万円

売上高の推移 (百万円)

第24期 9,507

第25期 10,333

営業利益
283 百万円

営業利益の推移 (百万円)

第24期 284

第25期 283

B to Bイノベーション事業

主力であるオフィス文具通販の代理店展開に関しては、大手通信販売事業者による市場参入に加えて、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う営業活動の自粛やテレワーク実施によりオフィス文具需要は減退し、厳しい状況が続きましたが、既存登録顧客へのキャンペーン実施など、稼働促進による収益の確保に努めました。また、新たな収益基盤の獲得に向けて、グループの広範な法人顧客ネットワークやアウトバウンド専門のコールセンターを活用できる新商材、新サービスの開発にも取り組みました。

今後の展望

B to Bイノベーション事業では、これまでに構築した顧客網を活用できる事業者向けの商材やサービスを広く開拓してまいります。

また、環境サステナ事業とのシナジーを追求し、LED照明機器の販売・レンタルを医療法人や社会福祉法人を中心に展開していく過程で構築された顧客基盤を活用して、医療法人・社会福祉法人の経営改善等に特化したコンサルティングサービスの展開に取り組めます。

新規サービスの構築により「成長市場の創出・科学技術イノベーション」に、また医療法人等の存続・発展に資することで、「健康・長寿の達成」に貢献してまいります。



売上高

778 百万円

売上高の推移 (百万円)



※ 第24期は「収益認識に関する会計基準」等の適用前、第25期は適用後の金額です。

営業利益

285 百万円

営業利益の推移 (百万円)



環境サステナ事業

現在の主軸であるLED照明機器の販売・レンタルについては、主要な顧客である医療法人に対し、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底した上で、営業活動を実施しました。また、太陽光発電やウォーターパックの販売、エネルギー利用状況等に関するコンサルティングサービスにより安定的に収益を確保しました。一方で、原油価格の高騰に起因する電力の仕入価格上昇により、電力小売やエネルギー利用状況等に関するコンサルティングサービスの新規顧客の獲得が難航し、このために見込んでいた費用が発生しなかったことから、営業利益が見込みより大幅に増加しました。

今後の展望

環境サステナ事業では、病院・学校向けLEDレンタルサービスをはじめ「SDGs」に貢献するビジネスモデルのマーケティングを展開し、当社の企業理念となる「人に、よりよく」を体現するため、営利の追求のみに終始せず、環境技術を社会に導入しやすいよう支援を推し進めてまいります。

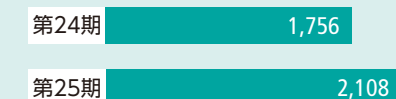
LED照明機器の普及推進やアルファ電力の提供による「インフラ整備」への貢献、太陽光発電による「省・再生可能エネルギー」への貢献など、企業の社会的責任(CSR)を果たすため、環境関連に特化した商材を取り扱うことに注力してまいります。



売上高

2,108 百万円

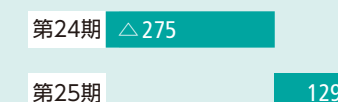
売上高の推移 (百万円)



営業利益

129 百万円

営業損益の推移 (百万円)

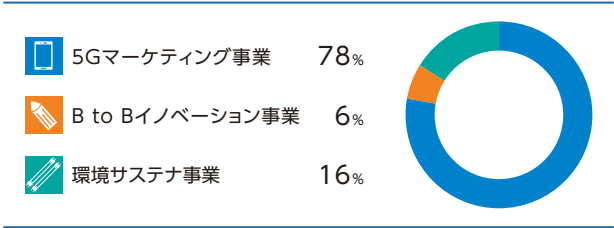


連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2022.3.31現在)	前 期 (2021.3.31現在)
《資産の部》		
流動資産	6,408	6,436
固定資産	2,232	2,085
有形固定資産	803	760
無形固定資産	102	202
投資その他の資産	1,326	1,122
資産合計	8,641	8,522
《負債の部》		
流動負債	3,160	3,162
固定負債	522	817
負債合計	3,683	3,979
《純資産の部》		
株主資本	4,959	4,542
資本金	728	728
資本剰余金	688	688
利益剰余金	4,427	4,010
自己株式	△885	△885
その他の包括利益累計額	△0	—
その他有価証券評価差額金	△0	—
純資産合計	4,958	4,542
負債純資産合計	8,641	8,522

セグメント別売上高比率



連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2021.4.1～ 2022.3.31)	前 期 (2020.4.1～ 2021.3.31)
売上高	13,211	16,600
売上原価	9,658	13,764
売上総利益	3,552	2,836
販売費及び一般管理費	2,854	2,537
営業利益	698	298
営業外収益	64	70
営業外費用	12	17
経常利益	750	351
特別利益	2	4
特別損失	59	21
税金等調整前当期純利益	692	335
法人税、住民税及び事業税	282	206
法人税等調整額	△33	△81
当期純利益	444	211
親会社株主に帰属する当期純利益	444	211

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2021.4.1～ 2022.3.31)	前 期 (2020.4.1～ 2021.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	491	△451
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△399	△319
現金及び現金同等物の増減額	8	△882
現金及び現金同等物の期首残高	2,766	3,648
現金及び現金同等物の期末残高	2,774	2,766

会社概要

(2022年3月31日現在)

名 称	アルファグループ株式会社
英文社名	Alpha Group Inc.
本 社	東京都渋谷区東一丁目26番20号 東京建物東渋谷ビルディング14階
創 業	1994年11月30日
設 立	1997年10月8日
資本金	728,734千円
従業員数(連結)	199名

関係会社

(2022年6月29日現在)

アルファインターナショナル株式会社
株式会社アルファライズ
アルファエネシア株式会社
株式会社クロード
アルファメディカルマネジメント株式会社
アルファエレワークス株式会社

役 員

(2022年6月29日現在)

代表取締役社長	吉 岡 伸 一 郎
取締役	徳 山 宗 年
取締役	西 野 裕
取締役(社外)	渡 邊 守
監査役(常勤・社外)	松 寄 進
監査役(社外)	高 橋 雷 太
監査役(社外)	小 林 裕 一

株式状況

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数

20,160,000株

発行済株式の総数

6,962,400株

(自己株式1,309,766株を含む)

株主数

478名

大株主

株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
吉岡 伸一郎	1,695,800	30.00
兼松コミュニケーションズ株式会社	832,000	14.72
株式会社エクステンド	757,600	13.40
立花証券株式会社	537,100	9.50
光通信株式会社	413,400	7.31
株式会社マルチメディアネットワーク	402,900	7.13
鷲見 貴彦	188,200	3.33
株式会社エスアイエル	135,900	2.40
アルファグループ役員持株会	102,900	1.82
楽天証券株式会社	48,500	0.86

(注) 1. 当社は、自己株式を1,309,766株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

金融商品取引業者	638,511株 (9.17%)	外国法人等	16,312株 (0.23%)
自己株式	1,309,766株 (18.81%)	金融機関	100株 (0.00%)
その他の法人	2,556,100株 (36.71%)	個人・その他	2,441,611株 (35.08%)